

氏名	大橋 敬司
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第5859号
学位授与の日付	平成30年12月27日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Cluster analysis using anti-aminoacyl-tRNA synthetases and SS-A/Ro52 antibodies in patients with polymyositis/dermatomyositis (多発性筋炎/皮膚筋炎患者における抗アミノアシルtRNA合成酵素抗体及び抗SS-A/Ro52抗体を用いたクラスター解析)
論文審査委員	教授 森実 真 教授 松川昭博 准教授 西田圭一郎

学位論文内容の要旨

背景: 多発性筋炎/皮膚筋炎 (PM/DM) において様々な自己抗体が発見されているが、それらの臨床的意義についてはいまだ十分に解明されていない。

方法: 2012年から2016年に岡山大学病院へ通院したPM/DM患者61例の抗Jo-1、PL-7、PL-12、EJ、OJ抗体を含む抗ARS抗体、抗SS-A/Ro-52抗体の半定量値をもとにクラスター解析を行い、クラスター間での臨床徴候、再燃割合を比較検討した。

結果: 3つの特徴的なクラスターに分類された。クラスター1 (10例) は抗Jo-1抗体、抗SS-A/Ro52抗体両者陽性; クラスター2 (24例) は抗SS-A/Ro52抗体陽性、抗Jo-1抗体以外の抗ARS抗体陽性、抗Jo-1抗体全例陰性; クラスター3 (27例) は抗Jo-1抗体と抗SS-A/Ro52抗体の両者がほぼ陰性であった。クラスター3の再燃割合はクラスター1、2と比較し有意に低かった。

結論: 抗ARS抗体と抗SS-A/Ro52抗体の両者もしくはいずれかがPM/DMにおいて臨床転機に関連している可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

多発性筋炎/皮膚筋炎 (PM/DM) においては様々な自己抗体が発見されているが、それらの臨床的意義については未だ十分に解明されていない。

本研究ではPM/DM患者61例の抗Jo-1、PL-7、PL-12、EJ、OJ抗体を含む抗ARS抗体、抗SS-A/Ro-52抗体の半定量値をもとにクラスター解析を行い、クラスター間で再燃割合を比較検討した。3つの特徴的なクラスターに分類され、クラスター1 (10例) は抗Jo-1抗体、抗SS-A/Ro-52抗体両者陽性; クラスター2 (24例) は抗SS-A/Ro-52抗体陽性、抗Jo-1抗体以外の抗ARS抗体陽性、クラスター3 (27例) は抗Jo-1抗体と抗SS-A/Ro-52抗体両者ほぼ陰性であった。クラスター1の間質性肺炎および関節症状の頻度は有意に高かった。また、クラスター3の再燃割合は有意に低く、これらの抗体が臨床転機に関連している可能性が示唆された。

委員からクラスター解析の意義などに関して質問があり、本研究者はクラスター解析の手法とその限界についての説明を交えながら、丁寧に回答した。

本研究は抗Jo-1抗体と抗SS-A/Ro-52抗体がPM/DMの臨床転機および合併症に関連していることを、クラスター解析を用いて明らかにし、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。